



第6回

日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会

NST・ ひとり一人が 主治医になれ

プログラム
抄録集

会期

2018年10月28日(日)

会場

コラニー文化ホール (山梨県立県民文化ホール)

〒400-0033 山梨県甲府市寿町26-1

会長

中瀬 一 (北杜市立甲陽病院 副院長・外科)

事務局

北杜市立甲陽病院

〒408-0034 山梨県北杜市長坂町大八田3954

TEL 0551-32-8310 FAX 0551-32-7191 E-mail jspen2018@ybs.ne.jp

第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会を開催するにあたり — ご挨拶 —

第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会 会長
北杜市立甲陽病院 副院長・外科
中瀬 一



第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会にご参加いただきましたこと感謝申し上げます。テーマ「NST・ひとり一人が主治医になれ」は医師を頂点としたピラミッドではなく、いわば全ての職種がピースとなったジグソーパズルのごときチーム医療を推進したいという思いから生まれました。多職種が集まって会議をしても、医師の鶴の一声で処方や方針を決定していたのでは眞のチーム医療ではないと思います。患者さんへの説明の義務を果たし、治療結果に責任を持つのは医師の役割です。しかし正しい知識、共通の認識に基づけば治療方針は主治医だけではなく全ての医療スタッフが提案できるはずです。

急性期を安全に乗り切る栄養管理、在宅を安寧に過ごす栄養管理、そしてもし入院せざるを得ないことになっても安全に急性期の治療が受けられるための日常の栄養管理、これらがシームレスにつながるためにには職種や診療科、施設の垣根を越えた連携が必要です。

スタッフひとり一人が治療方針を正しくチームに提案することは所属施設のみならず、広く地域を守ることにもつながるはずです。関東甲信越支部は日本静脈経腸栄養学会の各支部の中でも1、2を争う数の会員を擁しています。皆様が主治医としての信念のもとでNST活動を推進することが、この地域を守る大きな原動力になるでしょう。

おかげさまで67演題の応募をいただきました。

シンポジウム「ひとり一人が主治医になれ」ではメディカルスタッフとしてNSTを支える・病院を支える・地域を支えるためにすでにどのようなことを実践しているか、そのためには何が課題かといった観点からのご報告をお願いしています。

JSPENを代表すると言っても過言ではないESPEN LLL diploma holderの先生方による「LLL教育セッション～みんなのJSPEN、みんなのLLL・多職種がいま一つになる～」も企画されています。

そして日本静脈経腸栄養学会の東口高志理事長からは本学術集会のテーマにも相応しい特別講演を、さらには周術期、癌、腸内環境、脳卒中、認知症、CKD、整形外科などに関する多彩な領域からの特別講演を企画しました。

従来から日本静脈経腸栄養学会ではあらゆる診療科からの報告がありましたが、やはり報告数には偏りがありました。職種や診療科の垣根を越えた連携のためにはその垣根の向こう側のことも勉強する必要があると思います。そのような点からも興味深いプログラムになったと感じています。

この一日が、皆が主治医となるための糧となれば幸いです。関東甲信越が一つのNSTとなることを願って止みません。

日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部 各県代表世話人

県名	氏名	所属機関	職名
■千葉県	鍋谷 宏一	千葉県がんセンター 食道・胃腸外科	師
	櫻井 洋一	和洋女子大学大学院/千葉県済生会習志野病院 外科	医
	古川 勝規	千葉大学 臓器制御外科学	医
	高橋 直樹	千葉県がんセンター	医
	實方 美由	千葉県がんセンター看護部/NST、NST専門療法士	護
	新井 健一	千葉大学医学部附属病院 薬剤部/NST	剤
	福原 麻弓	千葉県こども病院 検査部 検査科	検査
■埼玉県	古川 聰子	千葉県済生会習志野病院 臨床栄養科/NST	部
	小山 勇二	埼玉医科大学国際医療センター 病院長 消化器外科	管理
	大村 文之	上尾中央総合病院 外科	栄養士
	山田 博吉	赤心堂病院 外科	師
	川島 吉洋	埼玉県立がんセンター 消化器外科	師
	宇田川 子	小川赤十字病院看護師長	師
	長谷川 忠史	自治医大附属さいたま医療センター 薬剤部	部
■栃木県	奥住 裕二	獨協医科大学越谷病院 臨床検査部	検査
	秋山 好美	埼玉石心会病院 コメディカル部 栄養室室長	部
	鈴木 裕涉	国際医療福祉大学病院 外科	管理
	佐野 正徳	厚生連 上都賀総合病院	栄養士
	鈴木 倉	社会医療法人 博愛会 菅間記念病院	師
	木科 勝太郎	自治医科大学附属病院 消化器外科	師
	増田 典弘	国立病院機構 宇都宮病院	部
■茨城県	古内 三基子	自治医科大学附属病院 看護部	課
	渡部 義和	栃木県済生会宇都宮病院 薬剤情報指導課課長	師
	中田 啓二	厚生連 上都賀総合病院 薬剤部	部
	佐藤 敏子	自治医科大学付属病院 臨床栄養部	部
	室井 幸江	国際医療福祉大学 塩谷病院	課
	寺島 秀夫	筑波大学附属病院 消化器外科	師
	鈴木 宏昌	帝京平成大学	師
■群馬県	増本 幸二	筑波大学 小児外科	師
	松田 直美	つくば双愛病院	部
	原信田 努	JAとりで総合医療センター 薬剤部	課
	関口 芳恵	土浦協同病院 臨床検査部	部
	佐々木 貴子	茨城西南医療センター病院 栄養部	部
	中村 卓郎	公立藤岡総合病院 外科	課
	小川 哲史	高崎総合医療センター	部
■新潟県	伊東 七奈子	前橋赤十字病院	部
	橋場 弘武	公益財団法人 老年病研究所附属病院	科
	渡邊 美鈴	脳血管研究所 美原記念病院	衛生
	高坂 陽子	前橋赤十字病院	生
	小山 諭	新潟大学大学院保健学研究科	師
	小林 純哉	JA新潟厚生連小千谷総合病院	師
	合志 聰	JA新潟厚生連上越総合病院	師
■長野県	矢部 正浩	新潟市民病院 総合心療内科	部
	継田 雅美	新潟薬科大学	科
	塩原 真帆	新潟大学医歯学総合病院 栄養課	衛生
	小師 優子	新潟大学病院 栄養管理室	生
	細川 学	信濃園病院 栄養科	生
	北原 修一郎	長野赤十字病院 小児外科 部長	師
	松島 凜太郎	長野厚生連 佐久医療センター 歯科口腔外科	部
■山梨県	小林 香	長野市民病院 看護部 看護師長	科
	滝澤 康志	飯山赤十字病院 薬剤部(信州NST研究会事務局)	衛生
	倉島 祥子	長野赤十字病院 検査部	生
	北澤 千枝	社会医療法人栗山会 飯田病院 管理栄養士	生
	中瀬 一忠	北杜市立甲陽病院 副院長	師
	長田 大紀	長田在宅クリニック 院長	師
	村上 恭元	公益財団山梨厚生会 山梨厚生病院 乳腺外科 医長	師
	荒川 喜美	山梨大学医学部付属病院 栄養管理部	部
	佐藤 宏樹	富士吉田市立病院	科
		市立甲府病院 薬剤部	衛生
			生

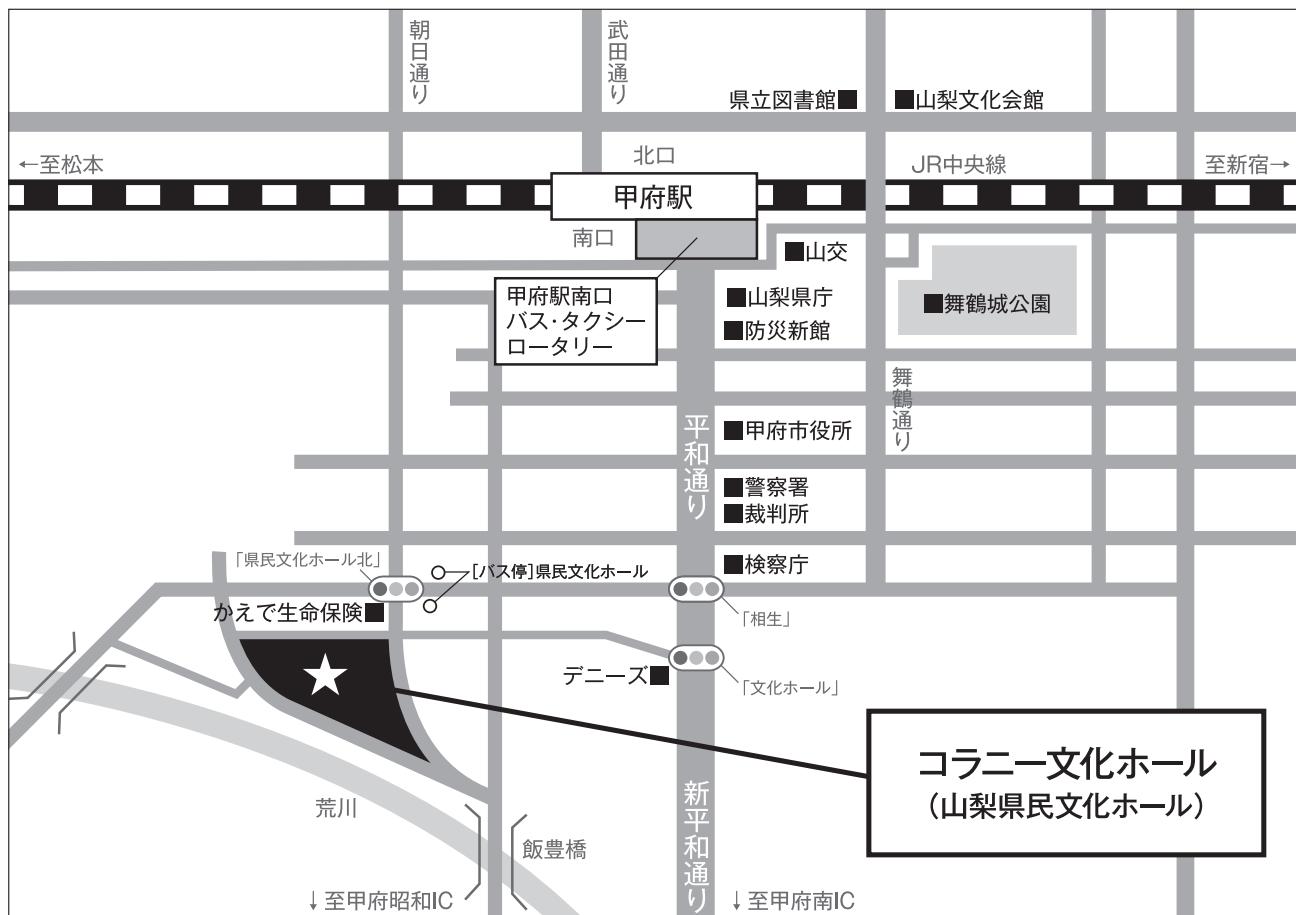
日 程 表

第1会場 1階 大ホール		第2会場 1階 小ホール	ホスピタリティルーム 3階 会議室	第3会場 3階 ホワイエ
9:00	9:00~9:10 開会式			
9:15~9:55	LLL教育セッション ～みんなのJSPEN、みんなのLLL・ 多職種がいま一つになる～ 司会：西村智子 牧 宏樹	9:15~11:00 シンポジウム 「ひとり一人が主治医になれ」 司会：大村健二 中田啓二 シンポジスト：綿田雅美 秋山好美 棚橋由佳 関口芳恵 木村千亜貴 松田直美 金塚浩子 滝澤康志	9:15~10:00 口演1 栄養評価 座長：小川哲史 宇田川洋子	9:15~9:55 口演6 周術期栄養管理 座長：郡 隆之 吉内三基子
10:00	10:00~11:00 教育講演 「脳卒中急性期に求められる全身管理： 経腸栄養の重要性」 司会：寺島秀夫 演者：森田幸太郎 (共催：アボットジャパン株式会社)		10:05~10:50 口演2 フレイル・サルコペニア 座長：佐藤 弘 内藤 薫	10:00~10:50 口演7 重症病態 座長：川島吉之 佐藤美和
11:00			10:50~11:20 ホスピタリティルームレクチャー テルモ株式会社	10:50~11:20 メーカーレクチャー 株式会社ヤクルト本社
11:30~12:30	ランチタイム特別講演1 「NST・原点から未来へ」 司会：鈴木 裕 演者：東口高志 (共催：株式会社大塚製薬工場)	11:30~12:30 ランチタイム特別講演2 「術後早期回復を目指した周術期管理」 司会：鍋谷圭宏 演者：谷口英喜 (共催：あゆみ製薬株式会社)		
12:00			12:30~13:00 ホスピタリティルームレクチャー ビオフェルミン製薬株式会社	12:30~13:00 メーカーレクチャー 大塚製薬株式会社
13:00			13:00~13:30 ホスピタリティルームレクチャー ミヤリサン製薬株式会社	13:00~13:30 メーカーレクチャー ニュートリー株式会社
13:30~14:30	NSTに活かそう各種疾患1： 認知症 司会：山田博文 演者：島津智一 (共催：第一三共製薬株式会社)	13:30~14:30 消化管を知る1 「高齢者フレイル・サルコペニアに 求められる次世代の栄養管理とは？」 司会：小山 諭 演者：水野英彰 (共催：テルモ株式会社)	13:30~14:15 口演3 静脈・経腸栄養剤 座長：合志 聰 堀込かずみ	13:30~14:05 口演8 地域・予防 座長：小林純哉 北澤千枝
14:00			14:15~15:00 口演4 経管栄養の技 座長：櫻井洋一 渡邊美鈴	14:05~14:40 口演9 多職種連携 座長：尾花和子 實方由美
14:35~15:35	NSTに活かそう各種疾患2： CKD 司会：中瀬 一 演者：深澤瑞也 (共催：キッセイ薬品工業株式会社)	14:35~15:35 消化管を知る2 「これからは機能性疾患としての 慢性便秘症」 司会：北原修一郎 演者：植竹知義 (共催：EAファーマ株式会社／ 持田製薬株式会社)	15:05~15:40 口演5 嚥下 座長：佐野 渉 高坂陽子	14:45~15:20 口演10 癌患者 座長：倉科憲太郎 浅川浩樹
15:00				15:20~16:05 口演11 慢性疾患 座長：宮坂芳明 古川聰子
15:40~16:40	NSTに活かそう各種疾患3： 整形領域 司会：中村卓郎 演者：中島育昌 (共催：中外製薬株式会社)	15:40~16:40 エキスパートセミナー 「消化器癌治療における 栄養学の重要性」 司会：飯塚秀彦 演者：市川大輔	15:40~16:40 主題関連・NST 座長：丸山道生 滝澤康志	
16:00	16:45~17:00 閉会式			
17:00				

交通案内図

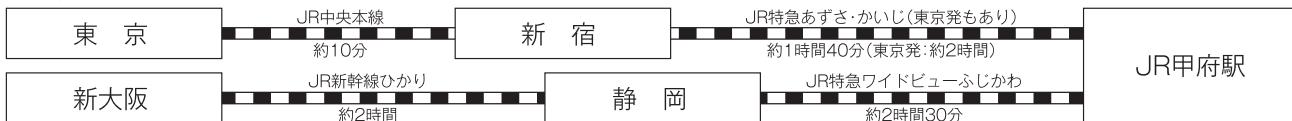
会場:コラニー文化ホール(山梨県民文化ホール)

〒400-0033 山梨県甲府市寿町26-1 TEL:055-228-9131



交通アクセス

●鉄道でお越しの方 (下記のルートは乗継例です。ご出発のお時間に応じて、最適な路線でお越しください)



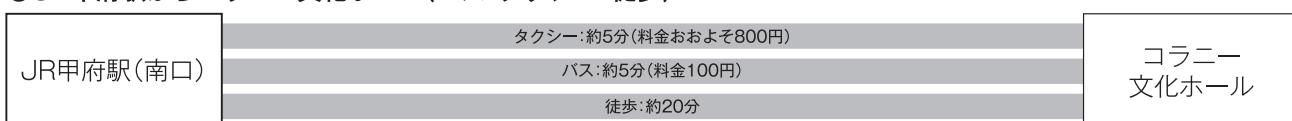
●自動車でお越しの方 (下記のルートは、中央自動車道「甲府昭和IC」を経由した際の運行例です。ご出発のお時間に応じて、最適なルートでお越しください)



●高速バスでお越しの方 (時間帯などによって、経由ICが異なることがあります)

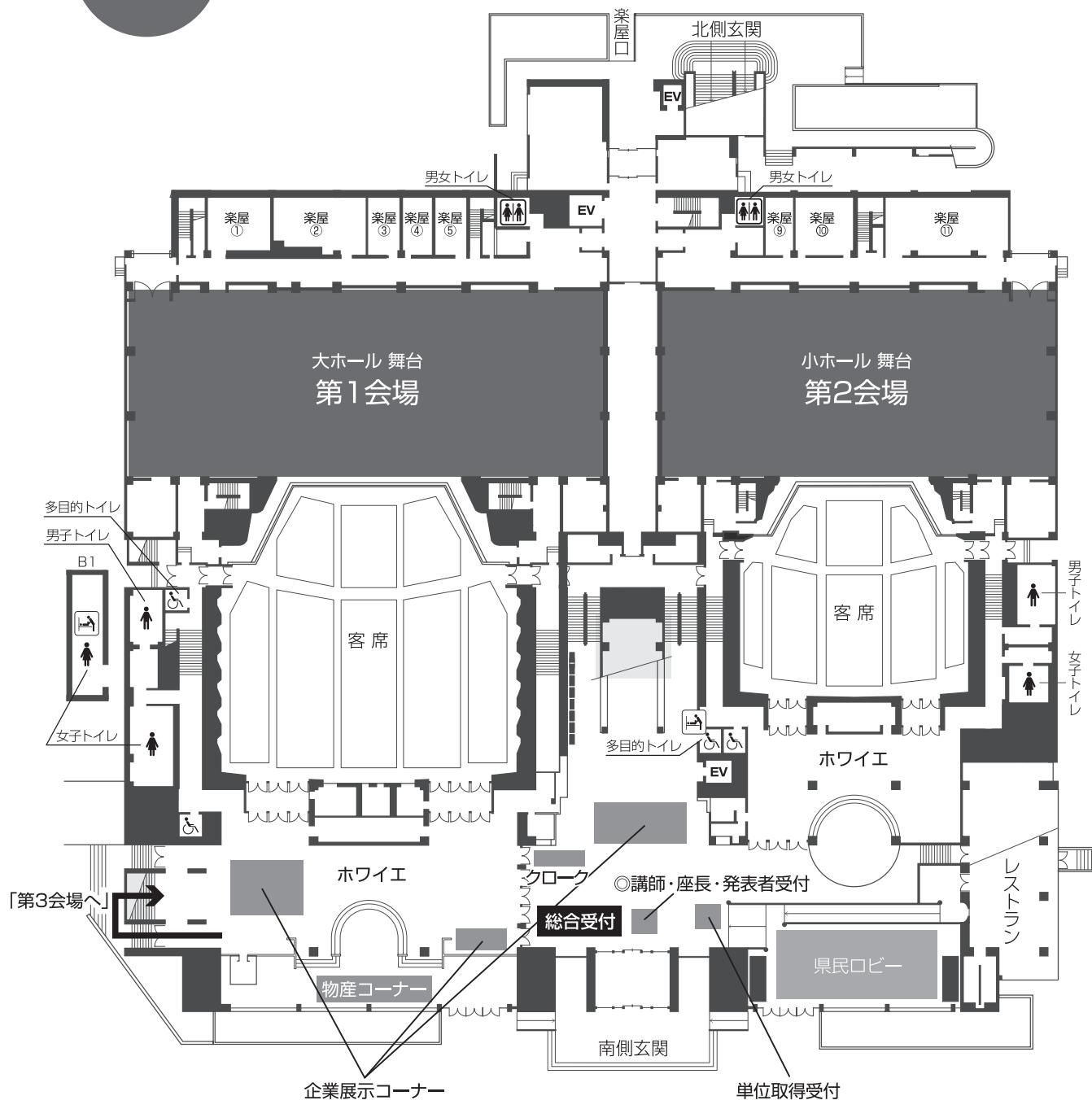


●JR甲府駅からコラニー文化ホール(バス・タクシー・徒歩)



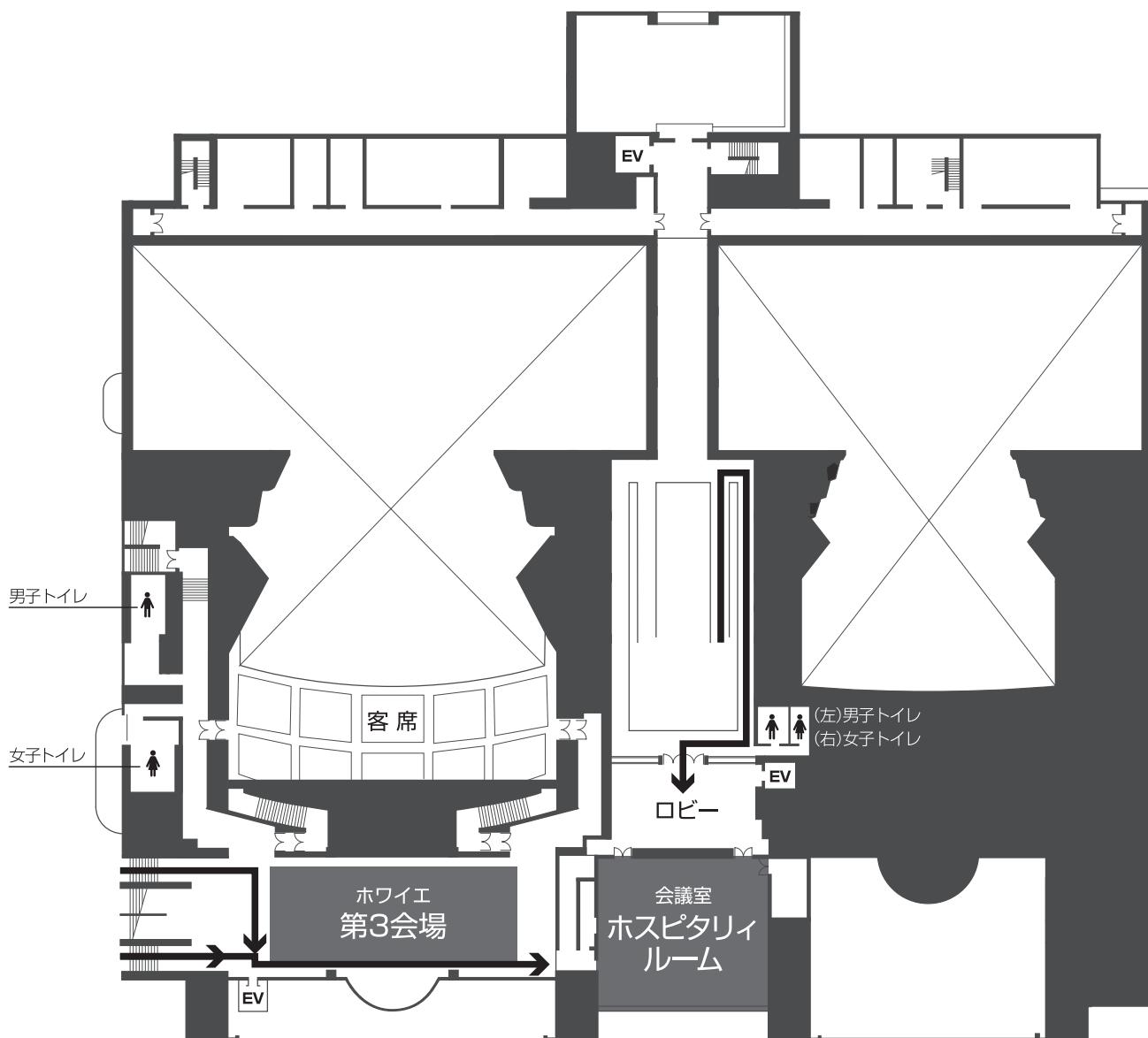
会場案内図(コラニー文化ホール)

1階



会場案内図(コラニー文化ホール)

3階



参加者・発表者・世話人のみなさまへのお知らせ

I 参加者へのご案内

1 参加登録

(1)事前参加登録をされた方へ

あらかじめ送付しております参加証(ネームカード)を必ずご持参ください。

また、会期中は必ず参加証をご着用ください。着用されていない方のご入場はお断りします。

当日、事前参加登録済みの方は受付へお立ち寄りいただく必要がございません。各会場へ直接お進みいただけます。

(2)当日参加をされる方へ

本学会に当日参加登録をされる方は、コラニー文化ホール1階総合受付の「当日参加受付」にてご登録ください。

参加費のお支払いは現金のみとさせていただきます。学生の方は学生証の提示が必要となります。

抄録集・参加証(ネームカード)をお渡ししますので、所属・氏名をご記入の上、会期中は必ずご着用ください。

着用されていない方のご入場はお断りします。

(3)プログラム・抄録集

事前登録が完了している方には、プログラム・抄録集をあらかじめご送付いたします。

当日、有料販売(1部 2,000円)もいたしますが、部数は限られておりますのでご了承ください。

◆受付窓口 参加登録は以下の通り行います

受付窓口	10月28日(日)
コラニー文化ホール 1階	当日参加受付／講座・座長・発表者受付／ランチタイム特別講演受付 8:30～15:00

◆参加費等一覧

種別	金額	支払い方法
一般事前 ※1	5,000円	銀行振込
一般当日	7,000円	現金
学生 ※2	2,000円	現金
抄録集販売	2,000円	現金

※1. 事前受付は終了いたしました。 ※2.「学生」には、大学院生を含みます。

(4)単位取得につきまして

- ・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士受験資格及び更新のための5単位が取得できます。
 - ・日本医師会生涯教育制度における単位・カリキュラムコード取得が可能です。(自己申告・平成31年4月30日まで)
 - ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育学習制度の単位が取得できます。(自己申告・平成31年3月31日まで)
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度における研修単位取得できます。
 - ・日本薬剤師研修センター 研修単位4単位取得できます。
 - ・日本栄養士会生涯教育自己研鑽(認定管理栄養士更新単位 2単位)
 - ・日本看護協会認定看護師・専門看護師・認定看護管理者更新審査の際の自己研鑽実績として申請が可能です。
 - ・日本歯科衛生士会の特別研修の単位がつきます。
 - ・日本作業療法士協会のポイント付与対象SIGとして認定されています。[(90分～1日参加:1ポイント)。所属の都道府県士会または日本作業療法士協会へ参加証明書(と受講記録)を提示し、受講記録へのスタンプ押印手続きとなります。]
 - ・日本診療放射線技師会生涯教育認定単位取得できます。(当日会員番号とともに名簿に記入していただく必要があります)
- ※ 単位取得受付は、コラニー文化ホール1F総合案内所横にございます。時間は13:00以降になります。

2 ランチタイム特別講演(ランチョンセミナー)のご案内

ランチタイム特別講演のチケットについて

- ◇弁当配布 コラニー文化ホール第1会場(大ホール)、第2会場(小ホール)内は飲食禁止のため、ランチタイム特別講演終了後各会場出口付近でお弁当を配布致します。講演終了時にチケットをご用意ください。
- ◇昼食場所 ホスピタリティルーム(会議室)、第3会場(大ホール2階ホワイエ)、大ホール1階ホワイエ、小ホールホワイエ 県民ロビーは飲食可能エリアです。座席数には限りがありご不便をおかけ致しますこと御容赦ください。
- ◇当日参加される方で、チケットをお持ちでない方も講演を聴くことはできますが、弁当希望の方は受付時に先着順となります。数に限りがございますのであらかじめご了承ください。
- ◇整理券の配布は先着順となります。参加証を提示してください。終了の際はご了承ください。

3 クローク

開設場所	時間
第1会場(大ホール)入口	10月28日(日) 8:30~17:30

上記の場所にクロークを開設いたします。

貴重品並びにノートパソコンはお預かりできませんので、ご自身でお持ちください。

4 撮影について

会場での、許可を受けない写真撮影・録音・録画は禁止いたします。著作権の侵害となる可能性がございますので厳にお慎みください。

5 その他

(1)お呼び出しについて

開催中はいずれの会場におきましても、会場内でのアナウンスやスライドによるお呼び出しはできません。

(2)企業展示

時 間 9:00から16:00

場 所 第1会場(大ホール)ホワイエ、ロビー

※各社企業展示の他、山梨県の特産品の販売なども行っており、休憩スペースとしてもご利用いただけます。

(3)交通機関や駐車場につきまして

本会では、できるだけ公共交通機関を利用してのご来場をお願いしております。御聴講または御登壇されるセッションには、余裕を持ってご移動くださいますようお願い申し上げます。

なお、コラニー文化ホールには有料の駐車場がございますが、台数には限りがございますのでご注意ください。満車の時は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

(4)喫煙について

会場館内は禁煙とさせていただきます。

II 座長・発表者・参加者へのご案内

1 発表者の皆様へのお願い

(1) 発表者の皆様へ

1階総合受付横の「講師・座長・発表者受付」で必ず受付を行なってください。また、発表セッション開始30分前までに、各会場受付にて試写をお済ませください。

演者の方は、前の発表者の登壇後(1人目の場合は発表15分前までに)各会場左前方の次演者席に御着席ください。

発表は、くれぐれも時間厳守でお願いします。

個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者もしくはその代理人からインフォームドコンセントを得た上で、個人が特定されないように十分留意して発表してください。

発表時間

発表方法	発表時間	質疑、交代	合計時間
一般口演	6分間	2分間	8分間
シンポジウム	8分間	2分間	10分間

(2) 使用するスライドデータにつきまして

発表は全てPowerPointによるPC プレゼンテーションのみといたします。

- ・発表データはウィルスチェックの上、CD-R、DVD-RおよびUSBフラッシュメモリでの持ち込みに限ります。
- ・会場での投影画面サイズはXGA (1024×768)=4:3です。
- ・文字化けやレイアウトのズレを防ぐため、フォントはOSに標準装備されたものをご使用ください。
- ・動画はWindows Media Playerで再生可能なものをPowerPointに挿入してください。
- ・動画ファイルはリンク状態になっているため、必ず一緒にご提出ください。
- ・データのファイル名は「演題番号_演者名(漢字)」にしてください。
- ・本学術集会終了後、データはコンピューターより責任を持って削除いたします。
- ・当日会場で用意する発表用 PC とソフトは、Windows版 PowerPoint 2013、2016を予定しております。
- （Macintoshを使用される場合は、必ず次項を参照の上でご自身のパソコンをお持ちください。）
- ・ご自身のパソコンを使用して発表する場合は、D-sub15pinの変換コネクターとACアダプターをお持ちください。

(3) 利益相反(COI)の開示につきまして

全てのご発表に関しまして、スライド中でのCOIの開示をお願いいたします。開示すべきCOI が「ある場合」も「無い場合」も、講演スライドの2枚目(タイトルの次のスライド)で、その旨をご申告ください。

テンプレートは、第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会のホームページ内「参加者へのお願い」に掲載されております。(http://www.jspen-kanto6.umin.jp/info/)

2 座長の先生方へ

- ・担当のセッションの開始30分前までに1階総合受付横の「講師・座長・発表者受付」にお立ち寄りください。
- ・セッション開始10分前までに、担当いただきます会場の右前方にある「次司会(次座長)席」にお着きください。
- ・司会(座長)席および演台に時間経過を表示するタイマーを設置いたします。時間厳守でお願いいたします。

3 参加者の皆様へ

質疑をされる場合、座長の許可を受けた上で、所属、氏名を明らかにしてから討論をはじめてください。また、次質問者は討論マイクの前まで移動してお待ちください。

III 世話人の皆様へのご案内

以下の日程により世話人会を開催します。

時 間 10/27(土) 17:00～

場 所 ホテル談露館(山梨県甲府市丸の内1-19-16) 1階「アンバー」

プログラム

第1会場

教育セッション LLL 教育セッション ～みんなの JSPEN, みんなの LLL・多職種がいま一つになる～

第1会場 (1階 大ホール) 9:15-9:55

司会: 西村 智子 (京都府立医科大学 消化器内科)
牧 宏樹 (市立甲府病院 薬剤部)

LLL-1

欧州臨床栄養代謝学会 (ESPEN) の教育プログラム LLL (Life Long Learning) の事前学習会に参加して
山中 さやか (山梨県立中央病院 薬剤部)

LLL-2

ヨーロッパ臨床栄養代謝学会 (ESPEN) の教育プログラム LLL への取り組みから生涯学習を再考する
辰巳 真穂 (地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 薬剤部)

LLL-3

当院における ESPEN および LLL ライブコースへの参加状況と今後の課題
長沼 篤 (国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器内科)

LLL-4

世界標準の知識の修得から世界の臨床栄養への貢献—LLL へのいざない
西村 智子 (京都府立医科大学 消化器内科)

教育講演

第1会場 (1階 大ホール) 10:00-11:00

司会: 寺島 秀夫 (筑波大学 消化器外科)

脳卒中急性期に求められる全身管理：経腸栄養の重要性

森田 幸太郎 (桑名恵風会 桑名病院 脳神経外科)

共催: アボットジャパン株式会社

ランチタイム特別講演1 (ランチョンセミナー)

第1会場 (1階 大ホール) 11:30-12:30

司会: 鈴木 裕 (国際医療福祉大学病院 外科)

NST・原点から未来へ

東口 高志 (藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座教授,
一般社団法人 日本静脈経腸栄養学会 理事長)

共催: 株式会社 大塚製薬工場

NSTに活かそう各種疾患 1：認知症

第1会場（1階 大ホール）13:30-14:30

司会：山田 博文（赤心堂病院 外科）

認知症は患者をふたりつくる

島津 智一（埼玉精神神経センター 脳神経内科）

共催：第一三共株式会社

NSTに活かそう各種疾患 2：CKD

第1会場（1階 大ホール）14:35-15:35

司会：中瀬 一（北杜市立甲陽病院 外科）

CKD患者におけるフレイル・サルコペニアの現状と対策～特に透析患者について～

深澤 瑞也（山梨大学医学部附属病院 血液浄化療法部）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

NSTに活かそう各種疾患 3：整形領域

第1会場（1階 大ホール）15:40-16:40

司会：中村 卓郎（公立藤岡総合病院 外科）

高齢化社会においての課題：ロコモティブシンドローム・フレイルを考える

中島 育昌（医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院 整形外科）

共催：中外製薬株式会社

第2会場

シンポジウム「ひとり一人が主治医になれ」

第2会場 (1階 小ホール) 9:15-11:00

司会: 大村 健二 (上尾中央総合病院 外科・腫瘍内科)
中田 啓二 (厚生連上都賀総合病院 薬剤部)

S-1

「ひとり一人が主治医になれ・・・るか?」薬学生に対する栄養教育の現状

継田 雅美 (新潟薬科大学薬学部 臨床薬学研究室)

S-2

「ひとり一人が主治医になれ」あきらめの悪い管理栄養士から~

秋山 好美 (社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 栄養部)

S-3

手術のための準備センターを開設して~理学療法士の立場から~

棚橋 由佳 (前橋赤十字病院 リハビリテーション課)

S-4

当院 NST における多職種連携

関口 芳恵 (総合病院土浦協同病院 臨床検査部)

S-5

院内感染を考慮した口腔ケア体制~歯科衛生士の口腔ケアバッグ変更の効果~

木村 千亜貴 (前橋赤十字病院 NST)

S-6

摂食嚥下障害看護認定看護師が訪問看護師と同行訪問をして得られる効果の検証

松田 直美 (チャンス総合学院 医療介護分野担当講師)

S-7

NST における看護師の役割

金塚 浩子 (千葉県がんセンター)

S-8

NST 薬剤師の活動

滝澤 康志 (飯山赤十字病院 薬剤部)

ランチタイム特別講演2（ランチョンセミナー）

第2会場（1階 小ホール）11:30-12:30

司会：鍋谷 圭宏（千葉県がんセンター 食道・胃外科）

術後早期回復を目指した周術期管理

—術後早期のDREAM達成を目指したチームサポート—

谷口 英喜（済生会横浜市東部病院 患者支援センター）

共催：あゆみ製薬株式会社

消化管を知る1

第2会場（1階 小ホール）13:30-14:30

司会：小山 諭（新潟大学大学院保健学研究科）

高齢者フレイル・サルコペニアに求められる次世代の栄養管理とは？

—腸内細菌叢を考慮した栄養管理の必要性—

水野 英彰（悦伝会 目白第二病院 外科・副院長）

共催：テルモ株式会社

消化管を知る2

第2会場（1階 小ホール）14:35-15:35

司会：北原 修一郎（長野赤十字病院 小児外科）

これからは機能性疾患としての慢性便秘症

—臨床における新薬系薬剤の有用性—

植竹 智義（長野県佐久穂町立千曲病院 胃腸科・院長）

共催：EA ファーマ株式会社／持田製薬株式会社

エキスパートセミナー

第2会場（1階 小ホール）15:40-16:40

司会：飯塚 秀彦（北杜市立甲陽病院 外科）

消化器癌治療における栄養学の重要性

市川 大輔（山梨大学医学部 外科学講座第1教室・教授）

ホスピタリティルーム

口演① 栄養評価

ホスピタリティルーム（3階 会議室）9:15-10:00

座長：小川 哲史（国立病院機構高崎総合医療センター 外科）
宇田川 洋子（小川赤十字病院 看護部）

口演①-1

栄養評価ツール SGA および MUST の比較・検討

井上 裕（城西大学薬学部医薬品安全性学研究室）

口演①-2

摂食障害患者（神経性やせ症）における投与エネルギー量の検討 第2報

岩部 博子（筑波大学附属病院 病態栄養部）

口演①-3

回復期リハビリテーション病棟での体重管理のあり方

渡邊 美鈴（脳血管研究所附属美原記念病院 栄養科）

口演①-4

回復期リハビリテーション病棟における、入院時 Alb, BUN, Cr, BUN/Cr と運動機能の変化の関連性

高瀬 麻以（田無病院 教育・研究担当 / 東京大学 高齢社会総合研究機構）

口演①-5

肝硬変および消化管癌症例における血清亜鉛値の検討

山本 文哉（高崎総合医療センター 薬剤部）

口演② フレイル・サルコペニア

ホスピタリティルーム（3階 会議室）10:05-10:50

座長：佐藤 弘（埼玉医大国際医療センター 消化器外科）
内藤 薫（北杜市立甲陽病院 リハビリテーション科）

口演②-1

高齢期サルコペニア患者の摂取エネルギー量の検討

近藤 まなみ（新潟県厚生連小千谷総合病院 栄養科）

口演②-2

リハビリ初期の身体機能はリハビリの効果に影響を及ぼす

白澤 佑次（北杜市立甲陽病院 リハビリテーション科）

口演②-3

地域包括ケア病棟入院患者の栄養状態と日常生活動作（ADL）の関係

石坂 克彦（飯山赤十字病院 外科）

口演②-4

乳癌患者の骨折イベントと筋肉量についての検討

山田 博文 (赤心堂病院 外科・乳腺科)

口演②-5

回復期リハビリテーション病棟入院時の MNA-SF の評価の意義

佐藤 謙 (亀田総合病院 リハビリテーション科)

ホスピタリティルームレクチャー 1

ホスピタリティルーム (3階 会議室) 10:50-11:20

テルモ株式会社

ホスピタリティルームレクチャー 2

ホスピタリティルーム (3階 会議室) 12:30-13:00

ビオフェルミン製薬株式会社

ホスピタリティルームレクチャー 3

ホスピタリティルーム (3階 会議室) 13:00-13:30

ミヤリサン製薬株式会社

口演③ 静脈・経腸栄養剤

ホスピタリティルーム (3階 会議室) 13:30-14:15

座長: 合志 聰 (新潟厚生連 上越総合病院 消化器内科)

堀込 かずみ (北杜市立甲陽病院 栄養科)

口演③-1

オルニュートを用いて褥瘡改善した 3 症例

本木 絵里 (医療法人社団 清伸会 ふじの温泉病院)

口演③-2

経口用栄養材の採用品変更前後での提供状況調査

永田 早紀 (埼玉医科大学国際医療センター 栄養部)

口演③-3

長期中心静脈栄養管理中に血清セレン低値を呈した 1 症例

岸 枝里 (千葉県救急医療センター)

口演③-4

当センターにおける腎不全用TPN基本液の使用状況調査

小林 瞳之（自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部）

口演③-5

ブドウ糖加アミノ酸輸液を安全かつ簡便に使用するための取り組み

有路 亜由美（上尾中央総合病院 薬剤部）

口演④ 経管栄養の技

ホスピタリティルーム（3階 会議室）14:15-15:00

座長：櫻井 洋一（千葉県済生会習志野病院 外科）

渡邊 美鈴（脳血管研究所付属美原記念病院 栄養科）

口演④-1

演題取り下げ

口演④-2

SM散[®]を利用した胃内pH上昇時のマーメットプラス[®]投与法の一案

浦野 敦（東邦大学医療センター佐倉病院 NST／薬剤部）

口演④-3

頭頸部癌患者の化学・放射線療法に対するNSTの介入～患者を巻き込んだ胃瘻栄養管理の取り組み～

古内 三基子（自治医科大学附属病院）

口演④-4

悪性リンパ腫による嚥下障害・胃瘻造設困難患者に対し、PTEG造設することで在宅療養に繋げた一症例

河津 紗子（千葉県がんセンター 栄養科）

口演④-5

円背患者のPEG増設後に生じたバンパー埋没症候群と瘻孔閉鎖不全に対して、外科的瘻孔閉鎖術とPTEG増設が必要とされた一症例

福島 豊実（神戸アドベンチスト病院 消化器内科）

口演⑤ 嚥下

ホスピタリティルーム（3階 会議室）15:05-15:40

座長：佐野 渉（厚生連 上都賀総合病院 外科）

高坂 陽子（前橋赤十字病院 歯科口腔外科 歯科衛生課）

口演⑤-1

重症心身障害児に対する嚥下シンチグラフィーを用いた不顕性誤嚥評価の試み

反頭 智子（山梨県立中央病院 小児科）

口演⑤-2

脳卒中発症後の経管栄養管理から経口摂取に回復する要因の検討

星野 郁子（脳血管研究所附属美原記念病院 栄養科）

口演⑤-3

急性期脳梗塞患者の嚥下機能改善に及ぼす影響の検討

小川 祐介（国立病院機構高崎総合医療センター）

口演⑤-4

NSTと摂食嚥下サポートチームでのSTの役割について

矢野 佳代子（上都賀総合病院 診療部 リハビリテーション科）

主題関連・NST

ホスピタリティルーム（3階 会議室）15:40-16:40

座長：丸山 道生（田無病院 外科）

滝澤 康志（飯山赤十字病院 薬剤部）

主題-1

当院におけるNST専門委員会立ち上げと活動報告

横内 健二（国民健康保険垂崎市立病院 薬局）

主題-2

多職種連携を意識したNSTチーム運営

清水 義仁（イムス板橋リハビリテーション病院）

主題-3

急性期病院におけるNST歯科回診

安達 順子（社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 栄養部）

主題-4

栄養サポートチーム加算再取得の問題点

北原 修一郎（長野赤十字病院 NST）

主題-5

総合診療科におけるNST活動

金井 敬子（山梨県立中央病院）

主題-6

当院呼吸器内科入院の75歳以上患者の特徴とNST介入における今後の課題

辰巳 真穂（地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 薬剤部）

第3会場

口演⑥ 周術期栄養管理

第3会場（3階 ホワイエ）9:15-9:55

座長：郡 隆之（利根中央病院 外科）

古内 三基子（自治医科大学附属病院 臨床栄養部）

口演⑥-1

心臓術後患者の食欲不振の原因がステロイドの中止であった1例

矢部 正浩（新潟市民病院 総合診療内科）

口演⑥-2

下肢切断術症例に対する周手術期 NST 介入の一症例

上條 沙也佳（富士吉田市立病院 看護部）

口演⑥-3

人工膝関節全置換術患者における周術期の栄養状態の変動と身体機能の変化について

佐藤 美愛（国民健康保険富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科）

口演⑥-4

当院における大腿骨近位部骨折患者の背景と術後経過について

高橋 未沙貴（伊勢崎市民病院 栄養科）

口演⑦ 重症病態

第3会場（3階 ホワイエ）10:00-10:50

座長：川島 吉之（埼玉県立がんセンター 消化器外科）

佐藤 美和（国民健康保険富士吉田市立病院 看護部）

口演⑦-1

外来栄養指導の継続にて悪液質を脱した一例

小勝 未歩（埼玉医科大学総合医療センター NST）

口演⑦-2

子宫頸癌4期を背景に臀部壊死性筋膜炎を発症した患者の栄養管理

松尾 真里（千葉大学医学部附属病院 臨床栄養部）

口演⑦-3

悪液質を伴った十二指腸 GIST 術後巨大肝転移例の栄養管理

館野 航平（国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器内科）

口演⑦-4

肥満低喚起症候群に対し NST の介入が著効した症例

菅又 渉（地域医療機能推進機構 山梨病院 内科）

口演⑦-5

ICU に入室した敗血症患者の入室時 CT 画像を用いた腹部主要筋断面積と MRC score との関連について
水戸部 優太 (帝京大学 医療技術学部 看護学科)

メーカー レクチャー 1

第3会場 (3階 ホワイエ) 10:50-11:20

株式会社ヤクルト本社

メーカー レクチャー 2

第3会場 (3階 ホワイエ) 12:30-13:00

大塚製薬株式会社

メーカー レクチャー 3

第3会場 (3階 ホワイエ) 13:00-13:30

ニュートリー株式会社

口演⑧ 地域・予防

第3会場 (3階 ホワイエ) 13:30-14:05

座長: 小林 純哉 (JA 厚生連小千谷総合病院 外科)
北澤 千枝 (社会医療法人栗山会 飯田病院 NST 科)

口演⑧-1

介護老人保健施設における「低栄養リスク改善加算」の取組
西山 好紀 (群馬中央病院附属介護老人保健施設 栄養管理室)

口演⑧-2

低頻度の栄養補助食品が外来フレイル患者に与えた有効性
内藤 薫 (北杜市立甲陽病院 医療支援部門リハビリテーション科)

口演⑧-3

イベントで探る減塩対策～ソルトペーパーとアンケートを活用して～
平井 美樹夫 (山梨県立北病院 栄養管理科)

口演⑧-4

WAVES のすすめ
山本 貴子 (Y's 栄養オフィス)

口演⑨ 多職種連携

第3会場（3階 ホワイエ）14:05-14:40

座長：尾花 和子（埼玉医科大学 小児外科）
實方 由美（千葉県がんセンター 看護局）

口演⑨-1

胃瘻造設に関わる医療と介護の連携について

江上 聰（西方病院 内科）

口演⑨-2

長野赤十字病院検査部 NST 活動の進歩

倉島 祥子（長野赤十字病院 検査部）

口演⑨-3

入院時のアセスメントを考える NST リンクナースと褥瘡チームとの連携を通して

齋藤 恵子（埼玉医科大学総合医療センター 消化管／一般外科）

口演⑨-4

新潟大学医歯学総合病院精神科における統合失調症患者

多職種連携心理教育プログラムにおける管理栄養士のかかわり

吉原 喬（新潟大学医歯学総合病院 栄養管理部）

口演⑩ 癌患者

第3会場（3階 ホワイエ）14:45-15:20

座長：倉科 憲太郎（自治医科大学 消化器一般外科）
浅川 浩樹（北杜市立甲陽病院 薬剤科）

口演⑩-1

高齢者胃切術後患者に対する BCAA 高配合補助食品を用いたリハ栄養管理の取り組み

野上 和美（国民健康保険 富士吉田市立病院）

口演⑩-2

がん専門病院で抗癌剤治療患者の NST 依頼

川島 吉之（埼玉県立がんセンター NST）

口演⑩-3

食道扁平上皮癌手術後の予後規定因子の検討

丸山 常彦（東京医科大学茨城医療センター 消化器外科）

口演⑩-4

胸部食道癌根治術後における外来リハビリテーション介入の安全性・忍容性試験

佐藤 弘（埼玉医大国際医療センター 消化器外科）

口演⑪慢性疾患

第3会場（3階 ホワイエ）15:20-16:05

座長：宮坂 芳明（山梨県立中央病院 外科）
古川 聰子（千葉県済生会習志野病院 臨床栄養科）

口演⑪-1

食欲不振患者の抑うつ状態を疑い食欲不振改善へ繋がった症例
大室 美紀（埼玉医科大学総合医療センター 栄養部）

口演⑪-2

夫の気持ちに寄り添い、脳梗塞を繰り返し自力体動困難な認知症透析患者の在宅栄養にむけた支援をした1例
木坂 京子（社会医療法人社団尚篤会 赤心堂病院）

口演⑪-3

透析患者の排便習慣の実態と乳酸菌飲料摂取による変化
奥山 はるみ（北杜市立甲陽病院 血液浄化センター）

口演⑪-4

当院におけるSGLT2阻害薬投与による体重減少傾向効果について
菅又 渉（地域医療機能推進機構 山梨病院 内科）

口演⑪-5

多職種による認知症病棟における食欲不振、栄養不良の患者に対するアプローチ
井上 恵美（南山会 峠西老健）

事務局企画

ロビーエリア 9:00-16:00

- ・JSPEN WAVES
- ・山梨実践栄養研究会
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン甲府

謝 辞

本学会の開催・運営にあたり、下記の団体並びに企業より多大なるご支援を賜りました。
この場を借りて厚く御礼申し上げます。

第6回 日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会会長 中瀬 一

協 賛

旭化成ファーマ株式会社
アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
アボット ジャパン株式会社
あゆみ製薬株式会社
アルフレッサファーマ株式会社
EA ファーマ株式会社
イーエヌ大塚株式会社
株式会社インボディ・ジャパン
株式会社ウイーズ
エーザイ株式会社
MSD 株式会社
株式会社大塚製薬工場
大塚製薬株式会社
小野薬品工業株式会社
オリンパス株式会社
株式会社介護センター花岡
科研製薬株式会社
キッセイ薬品工業株式会社
キャノンメディカルシステムズ株式会社
キューピー株式会社
協和発酵キリン株式会社
キリン株式会社
株式会社 QIB
グラクソ・スミスクライン株式会社
クラシエ薬品株式会社
株式会社クリニコ
株式会社 ケープ
コヴィディエンジャパン株式会社

後 援

山梨県
甲府市
北杜市
山梨県医師会
北巨摩医師会
山梨県民間病院協会
日本赤十字社山梨県支部

興和創薬株式会社
小林製薬株式会社
サニーヘルス株式会社
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
シキシマ醤油株式会社
信濃化学工業株式会社
住友ベークライト株式会社
seca 株式会社
第一三共株式会社
大正富山医薬品株式会社
大日本住友製薬株式会社
大鵬薬品工業株式会社
株式会社 匠メディカル
武田薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
中外製薬株式会社
株式会社ツムラ
帝人ファーマ株式会社
テルモ株式会社
テレフレックスメディカルジャパン
株式会社
東洋羽毛首都圈販売株式会社
日機装株式会社
日清オイリオグループ株式会社
日清医療食品株式会社
ニプロ株式会社
日本イーライリリー株式会社
ニュートリー株式会社
ネスレ日本株式会社

五十音順 (平成30年9月21日現在)

ノーベルファーマ株式会社
ノバルティスファーマ株式会社
バクスター株式会社
パラマウントベッド株式会社
ビオフェルミン製薬株式会社
株式会社平塚メディカル
有限会社平穂医科器械
ファイザー株式会社
フクダ電子長野販売株式会社
富士フィルムファーマ株式会社
豊前医化株式会社
北杜市立甲陽病院
ホシザキ東京株式会社
ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社
マコト医科精機株式会社
ミヤリサン製薬株式会社
株式会社ムトウ山梨
株式会社 明治
Meiji Seika ファルマ株式会社
メディキット株式会社
持田製薬株式会社
株式会社ヤクルト本社
山梨リハビリテーション病院
株式会社ヤヨイサンフーズ
祐徳薬品工業株式会社
吉田製薬株式会社
竜王みついクリニック

山梨県作業療法士会
山梨県言語聴覚士会
山梨県診療放射線技師会
山梨県歯科衛生士会
山梨県透析医会
山梨 NST 研究会

山梨県歯科医師会
山梨県病院薬剤師会
山梨県薬剤師会
山梨県看護協会
山梨県栄養士会
山梨県臨床検査技師会
山梨県理学療法士会

Special Thanks

学術集会運営に携わって下さった皆様

五十音順（平成 30 年 9 月 25 日現在）

浅川 明	内田 一美	熊谷恵美子	田中 真仁	平井 伸顕	向井 知子
浅川 和子	越前志帆子	倉持 治	田中裕一郎	平井 優	米良 圭介
浅川 和也	遠藤みどり	小池美沙幾	反頭 智子	平出いづみ	望月 美加
浅川 拓也	大月佳代子	小泉 恵子	千葉 隆史	平山ひとみ	森 潤
浅川 浩樹	岡本 篤司	小林 光	塚原 彩絵	深澤江利子	森 勇一
浅川 寛子	奥山はるみ	小林 由季	塚本 美加	藤巻 秀和	両角 津岐
浅川 弘美	桶田 剛史	小林由里愛	土屋 知己	藤森 玲子	山下 香織
浅川 正人	小澤 恒彦	小松加代子	角田 千春	舟本 陽子	山田 友喜
浅川 美香	小澤 直美	小宮山千里	友野 奈美	古屋 春美	山村 富子
安達 朋之	小澤 優佳	小宮山容子	内藤 薫	深沢 京子	山本 悅子
阿部 愛里	小澤 洋子	郷田 恵	内藤 光宣	深澤 恵利	山本 貴子
雨宮 律子	鬼澤 隆志	齋藤 寛子	長尾 勝敏	保坂 愛里	山本 博史
雨宮 里枝	小野 和重	佐々木 薫	中島 健太	細田万喜栄	山本 奈央
有井 美和	小野 綾子	定月 美恵	中瀬 智子	堀内恵理香	油井 和子
飯島 令子	小渕 正子	佐藤 美愛	中山 誠	堀込かずみ	行光 瞳
飯塚 秀彦	小俣 友里	佐藤 美和	永井 絵梨	牧 宏樹	横内 健二
井川 由貴	加藤 友一	佐野 公一	永田 祐介	松岡 直哉	吉原 京子
石川文美子	金井 敬子	四條 由真	中込 洋美	松土はつみ	依田美奈子
石原 知朗	金子 信治	清水 和美	西 純子	三浦 成之	若林 奈央
和泉 裕二	上條沙也佳	志村 美香	西山 明宏	三浦 恵	渡邊 高匡
市川 夕子	神谷美佐枝	下島 裕貴	二宮 優	水脇 健太	渡邊 麻衣
一瀬 明信	唐金 信弘	白澤 佑次	野澤穂多香	溝口 知佳	渡邊 雅子
伊藤 英明	川口 優	進藤 明子	野田 美和	三井佐知子	渡邊 美月
伊藤 咲子	川口 恭平	志村 友紀	野上 和美	宮坂 芳明	渡辺 諭
依藤 宏明	川添 祐子	末木 拓也	萩原 健太	宮澤 理沙	渡邊 裕美
入倉 郎子	川端 真平	杉原 貴裕	林 正樹	宮下 明子	渡邊 義仁
岩間 美紀	菊池佳代子	杉本 賢一	原島 秀哲	宮下 鮎	渡邊 優
岩間 美保	北原 克晃	高鳥 慶太	早川美代子	宮下 真美	
上嶋恵莉子	窪田 進一	武井 梨絵	東原 健二	宮嶋かなえ	
植松 節喜	窪田 要一	田中 雪江	日向喜久恵	三谷野聰子	

多大なる協力に感謝します

第 6 回日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会 会長 中瀬 一